

わんぱく学園ニュース

平成26年2月／平成26年3月号 No.167

冬の寒さに、色を失う季節 鮮やかな色をつける
もともとは中国ではツバキのことを“山茶（さんさ）”といい、それに”花“をつけ、サンサカと名づけていました。

花の色は さまざまで、ピンク、白、紅色・・・があり、童謡“たきび”にうたわれている花・・・

そう・・・山茶花（サザンカ）の花の咲く頃_____。

“山茶花の 紅（くれない）流る 季節（とき）秘めて”



さざんか

つばきのような大輪の花、落ちると地を明るく染めていく山茶花
紅い山茶花の花言葉は、無垢、ひたむきさ。

凜として襟を正すような美しさ、寒風の中にあっても咲き誇る姿は
まさに“ひたむきな 純粹さ”を感じさせてくれますね・・・

どんな環境にあっても常に“凜”として生きる・・・重なる想いで詠みました。

—土江 和世—

~~~~~  
三代先生は、ハートのある先生として、今、実習にこられているAさんを担当していただいています。

きけば幼少のころから、音楽が好きで、島根大学教育学部で音楽を学んだそうです。大学時代、ある養護学校に実習に行き、障がいある人たちの心の純粹さ、感性のすばらしさを知り、感動し、それがきっかけとなり、卒業後、出雲養護学校の教諭となったそうです。

こうして、日々、一人一人の生徒さんに添って、熱心に障がいある人たちの可能性を育むことに努力していらっしゃいます。

今回、実習をわんぱく大使館でお願いしていることがご縁で原稿を書かせていただきました。

## ありのままにいられることの大切さ

出雲養護学校 高等部3年 担任 三代知枝

わんぱく大使館へ定期的に実習に通っている生徒がいます。Aさんは集団が苦手、場所や人に慣れるにも、時間が必要です。でも、描く絵、つくる陶芸、書いた詩、ビーズで作ったアクセサリーには、Aさんにしかない才能が感じられます。Aさんの頭の中には、私たちには思いつかないような、繊細で自由なイメージがあふれています。

ここでは、そんなAさんの世界をさらに広げられるよう、時間、場所、人、一つ一つに配慮していただきました。「おちらと」のゆったりとした人や時間の流れと、めずらしい花や木に囲まれた部屋の雰囲気、Aさんにとって安心できる場所になりつつあります。緊張しながらも、少しずつ、作業をしたり、お茶の時間を過ごしたりすることができるようになりました。

卒業後の利用をめざし、安心して自分の力を発揮でき、認めてもらえるわんぱく大使館でがんばるAさんを、これからもずっと応援していきたいと思えます。

わんぱく学園 だれでも参加できるよ！出席とらないからいつでも、その日に集合場所へ集合！一人ででも、お友達と一緒にでも大歓迎！！

■2月&3月の「わんぱく学園」のメニューは下記の通りです。  
一緒に楽しみましょう！誰でも大歓迎！

| 内 容                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ★2月11日（火・休日）<br>○“豆まき大会”<br>遅ればせながらの豆まきで 鬼を追い払おう！<br>豆をいって、手作りの豆で、神社に豆まきに行こう！<br>場所：アトリエ「おちらと」<br>担当：土江和世、常賀信寛                                                                                                                                                                                    |
| ★2月16日（日）<br>○オープン！！“わんぱくカフェでおもてなし”<br>・毎月第3週日曜日は“わんぱくカフェの日”にすることにしました。<br>・この日集まって来たメンバーが、順番にコーヒーやお茶等をつくって集まって来た人らに、囲炉裏を囲んでおもてなしをします。<br>・飲み物・お茶菓子は、わんぱく学園を支援するある方からのご好意でスタートします。メニューは、おたのしみに<br>(12月のチョコレートの家づくりにも支援して下さった方です)<br>※みんなお待ちしています<br>場所：アトリエ「おちらと」<br>担当：土江和世、常賀信寛、山口恵子<br>会費：100円 |

★2月23日(日)

○“木綿てぬぐい”づくり

手ぬぐいに自分の好きな絵を描こう。

世界に一つだけの手ぬぐいを作ってみない!?

場所：アトリエ「おちらと」

担当：高橋猛、土江和世

会費：100円

★3月2日(日)

○“おひなさま”づくり

陶芸でおひな様を作ろう!

3月3日はおひな祭り、出来上がったら お家にかざろうか!?

素材は陶芸粘土

場所：アトリエ「おちらと」

担当：土江和世

会費：100円

★3月9日(日)

お休みします。

★3月16日(日)

○わんぱくカフェの日

毎月第3週日曜日は“わんぱくカフェの日”です

参加した地域の人から昔話に花を咲かせるひと時もあるかも

※新メニューもつくろうか?

場所：アトリエ「おちらと」

担当：土江和世、常賀信寛

会費：100円

★3月23日(日)

○プレスレットづくり

麻ひもをつかって自分のデザインでオリジナルプレスレットを作ってみない?

場所：アトリエ「おちらと」

担当：坂根玄明、土江和世

会費：100円

★3月30日(日)

○お弁当をもって春の公園へ

春めいた日、外での散策、そしてみんなで食べるお弁当が一番!

かわいい動物も、桜の小さな芽にも会えるよ!

場所：愛宕山公園

担当：常賀信寛、山口恵子

持ち物：弁当(おむすびOK)、水筒、敷物

※集合時間・・・すべて9時50分

※集合場所・・・指定場所なしの場合は、アトリエ「おちらと」に集合

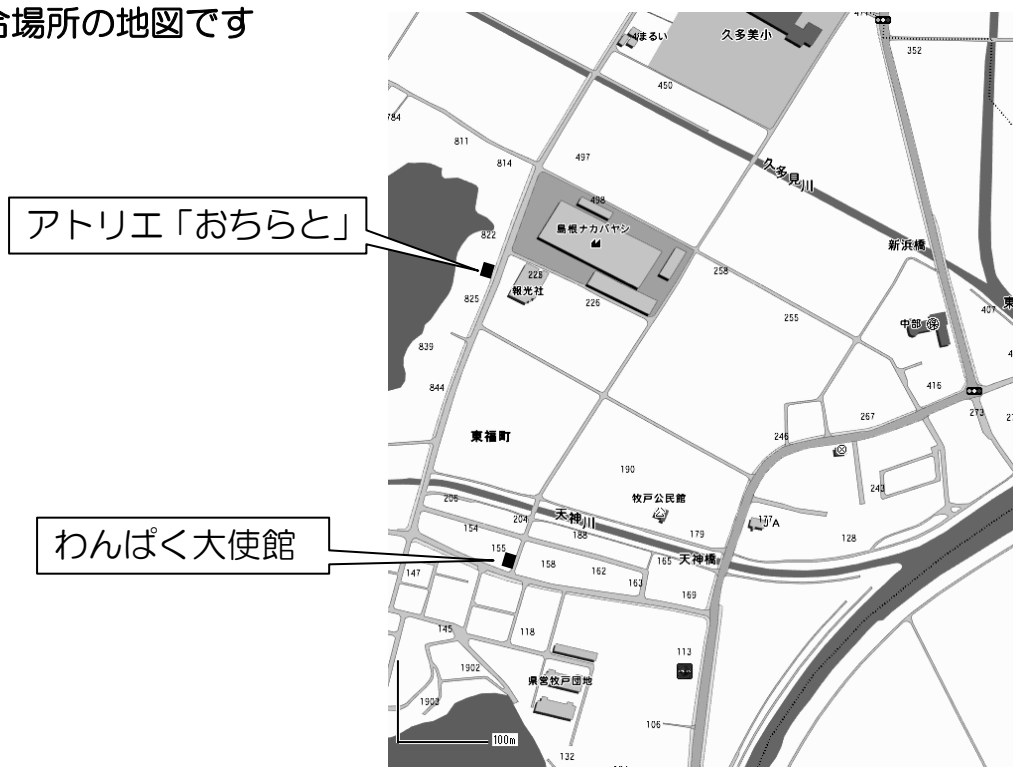
※学園問い合わせ・・・NPO法人サポートセンターどりーむ

TEL/FAX：0853-62-4872 携帯：090-7774-5913

Mail：[sc-dream-kt@sky.plala.or.jp](mailto:sc-dream-kt@sky.plala.or.jp)

※発行元 NPO 法人サポートセンターどりーむ

## 集合場所の地図です



【就労継続支援B型事業所】

# わんぱく大使館で はたらいてみませんか？

NPO法人サポートセンターどりーむはアートで自立を目指す活動を展開しています。わんぱく大使館はとっても楽しいところです。アート大好きな人や、そうでなくても、そのあたたかい雰囲気の中で、軽作業をしたい人も大歓迎!!見学もOK、いつでも声をかけてください。



この大使館では、皆さん、大使館員として、絵や陶芸や木工、絵本などを作ったり、みんなで力を合わせて軽作業をしたり、とにかく楽しく働いています。

私たち事業所の理念は“利用者の方を絶対守る!”ことです。安心して過ごして下さい。